



ソーシャルワークを紡ぐ

開催要綱

～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～

2022年7月2日(土)～3日(日)

第30回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 東京大会

会場 ホテルイースト21東京 東京都江東区東陽6-3-3

主催 公益社団法人日本社会福祉士会・公益社団法人東京社会福祉士会



第 30 回 日本社会福祉士会全国大会 ・ 社会福祉士学会(東京大会)

開催要綱 ・ 目次

1. 日本社会福祉士全国大会の開催にあたって .....	2
公益社団法人日本社会福祉士会 会長 西島善久	
2. ソーシャルワークを紡ぐ ～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～	3
公益社団法人東京社会福祉士会 会長 新堀季之 (第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 東京大会 実行委員長)	
3. 第 30 回 日本社会福祉士会全国大会 ・ 社会福祉士学会 (東京大会) 開催要綱	6
4. プログラム	9
5. 講師・シンポジスト紹介	10
6. 第 30 回社会福祉士学会	13
7. 全国大会プレ企画『事例研究ワークショップ』	17
8. 参加申込み手続きのご案内	18
9. 交通機関・周辺地図	23

## 日本社会福祉士会全国大会の開催にあたって



公益社団法人日本社会福祉士会  
会長 西島 善久

第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会東京大会が東京都江東区「ホテルイースト 21 東京」を会場として、集合・オンライン・オンデマンドのハイブリッド方式で開催されます。

公益社団法人東京社会福祉士会の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、全国の会員が集い・学ぶ機会である本大会の開催に向け、実行委員会を中心として、着実に準備を進めていただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。また、昨年度からソーシャルワーク専門職団体の連携強化・統合に向けた取り組みのひとつとして、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本ソーシャルワーカー協会の皆さまにもご案内をさせていただいております。記念すべき第 30 回東京大会に、全国から多くの会員の皆さまにご参加いただき、記憶に残る大会にしたいと思います。

「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が昨年 4 月に施行され、新たに規定された重層的支援体制整備事業が始まりました。本事業は、介護、障害、子どもおよび生活困窮の相談支援等に加え、伴走支援、多機関協働、アウトリーチ支援などの新たな機能を担うもので、地域共生社会の実現に向け、「ソーシャルワーク」と、ソーシャルワーク専門職である「社会福祉士」「精神保健福祉士」の必要性が明確になったものであり、その役割を果たすことが求められています。

さて、東京大会のテーマは「ソーシャルワークを紡ぐ～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～」です。一本の細い糸のような個々のソーシャルワーカーの実践が積み重なり、組織レベル、地域レベル、社会レベル、グローバルレベルの実践と往還しながら結びつき、人や社会を支える大きな流れになっていくことを表現されており、私たちソーシャルワーカーの「知」・「技術」・「価値」・「実践」を東京に結集させようという強いメッセージが込められています。

本大会において、講演やシンポジウムを始め、全国から多くの実践事例や実践研究が報告・発表されます。目の前のクライアント一人ひとりの個人の尊厳を護り、多様性が尊重されながら人々の繋がりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現を目指した実践が共有されることを期待するとともに、本大会を通してソーシャルワーカー一同士の連携を強め、私たちの役割を確認できれば幸いです。

ソーシャルワークを紡ぐ

～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～



公益社団法人東京社会福祉士会  
会長 新堀 季之

第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

「豊かな地域生活の実現のため、責任と誇りをもって、より添い、ともに悩み、育み、創り出すソーシャルワーク実践を行う」これは東京社会福祉士会の法人理念です。地域に根付いた活動を行う専門職団体として根幹としているものです。しかしながら、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、従前の発想や活動では、これらを満足させがたいという事態を引き起こしました。また、人と人の繋がりがいかに尊いものであったかを改めて実感もしました。

一方、コロナ禍は会の「中核事業」について思いを深める機会ともなりました。専門職団体として、どのような状況下にあっても、また、多くの事業を中止せざるを得ない事態であっても、途切れることなく続けなければならないこと、中断しても最短で復旧できるようにしておくこと、その一つが「学びの機会」であるということです。「学びをとめない」の合言葉のもと、躊躇なくオンラインを導入してまいりました。

また、会員の支援や交流の機会などについても工夫して取り組んでいくこととしております。この学びの機会、会員同士の交流の機会の一つの集大成が、この「日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会」と考えております。

例年とはひと味もふた味も異なる、むしろ、今後のソーシャルワーク実践、活動の方向性を示すことになるのではないかと思われる全国大会です。新型コロナウイルス感染症に振り回されつつも、柔軟に対応し実践や研究を続けておられた方々の知見に触れる貴重な機会です。また、交流の機会として、実際にお会いできる人々の規模は読みきれない状況でもありますが、オンラインの活用により、今まで以上に広い地域からの参加を容易にすることもできます。

今回はオンデマンド配信も試みます。この二日間の大会期間中にはどうしても参加できない場合であっても、あとから視聴することができます。より多くの方へ伝える手段として期待しております。

このような時期ではありますが、であるからこそ、全国のソーシャルワーカーの連携を強化し、お互いの知見や実践を深めていくときであると強く期待しております。東京の地で、あるいはオンラインでつながりながら、一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現を目指して、互いのソーシャルワーク実践を紡いでいきましょう。

2022年3月1日

都道府県社会福祉士会会員各位

公益社団法人日本社会福祉士会  
会 長 西 島 善 久  
(公 印 省 略)

第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)の  
開催について(ご案内)

拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、本会事業の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年7月2日(土)から3日(日)にかけて、第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)を東京都江東区にあるホテルイースト21東京にて開催することといたしました。詳細は別添「開催要綱」のとおりです。

本大会は「ソーシャルワークを紡ぐ～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～」をテーマとして掲げ、一人ひとりのwell-beingを高めていくために、多様な分野で活動を継続しているソーシャルワーカーの「知」・「技術」・「価値」・「実践」を東京大会に結集し、今とこれからの社会のあり方とソーシャルワーク実践と展望を考える機会としてご活用いただければ幸いです。

都道府県社会福祉士会に所属する会員数も44,500人を超え、全国各地において社会福祉推進の一翼を担い、各都道府県社会福祉士会の活動もますます充実してきています。今後も皆様とともに、活動の更なる充実に向けて邁進してまいりたく、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

末筆ながら、皆様の一層のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

2022年3月1日

(所属長)

様

公益社団法人日本社会福祉士会  
会 長 西 島 善 久  
(公 印 省 略)

第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)の  
開催について(お願い)

拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、本会事業の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、都道府県社会福祉士会に所属する会員数も 44,500 人を超え、全国47の都道府県社会福祉士会を通じて活動も順調に発展を続けております。

さて、本年も厚生労働省、東京都、江東区、全国社会福祉協議会等のご後援をいただき、下記のとおり7月2日(土)から3日(日)にかけて、第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)を東京都江東区にある、ホテルイースト21東京にて開催いたします。

本大会は、「ソーシャルワークを紡ぐ～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～」をテーマとして掲げ、一人ひとりの well-being を高めていくために、多様な分野で活動を継続しているソーシャルワーカーの「知」・「技術」・「価値」・「実践」を東京大会に結集し、今とこれからの社会のあり方とソーシャルワーク実践と展望を考える機会とする予定です。業務多忙の折、誠に恐縮に存じますが、貴下職員である社会福祉士の全国大会への出席について、特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

なお、プログラムの詳細につきましては、都道府県社会福祉士会会員を通じてお目通しいただければ幸いです。

末筆ながら、貴職の一層のご清祥をお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2022年7月2日(土)～3日(日)
2. 場 所 ホテルイースト21東京(東京都江東区東陽6丁目3-3)  
※参集とWebのハイブリット開催
3. 名 称 第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)
4. 参加者 都道府県社会福祉士会会員および社会福祉関係者  
(参集 800名+Web 1,200名を予定)
5. 後 援 厚生労働省、東京都、江東区、全国社会福祉協議会、他(予定)

# 第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)

## 開催要綱

### 1. 大会テーマ

ソーシャルワークを紡ぐ

～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～

### 2. 大会趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に世界中で人々が対応する中、一人一人の命の尊さ、人と人のつながりや支え合うことの大切さ、人や社会を支える働きの必要性が浮き彫りにされています。同時に社会的な格差や望まない社会的孤立の課題がクローズアップされ、格差の解消や社会基盤の再構築が問われています。

また、世界中で多発する気候変動、紛争、人権の抑圧などの諸問題への対応は、人類共通の課題となり、今現在、苦闘している多くの人々、そして未来を生きる次世代のために、私たちソーシャルワーカーの価値規範である平和の擁護、社会正義、人権、集団的責任、多様性の尊重および全人的存在の原理に則り、人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂を実現していくことが益々求められています。

ソーシャルワーカーは社会の様々な分野で多様な人々や組織と協働しながら人々の生活課題に取り組んでいます。本大会のテーマである「ソーシャルワークを紡ぐ」とは、各分野で取り組まれているソーシャルワーカーの一本の細い糸のような実践が積み重なり、組織レベル、地域レベル、社会レベル、グローバルレベルの実践と往還しながら結びつき、分野や地域を越えて人や社会を支える大きな流れになっていくことを表しています。

一人ひとりのウェルビーイング(well-being)を高めていくために、多様な分野で活動を継続しているソーシャルワーカーの「知」・「技術」・「価値」・「実践」を東京大会に結集し、今とこれからの社会のあり方とソーシャルワーク実践を展望しましょう。

3. 会 期 2022年7月2日(土)～7月3日(日)

4. 会 場 ホテルイースト21東京(東京都江東区東陽6丁目3-3)

※参集とWebとのハイブリッド開催

5. 主 催 公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人東京社会福祉士会

6. 参加定員 2,000名(参集800名+Web1,200名)

### 7. 参加対象者及び参加費

- (1)都道府県社会福祉士会の会員……………9,000円
- (2)日本精神保健福祉士協会の会員、日本医療ソーシャルワーカー協会の会員、  
日本ソーシャルワーカー協会の会員……………9,000円
- (3)一般……………10,000円
- (4)学生……………4,000円

※参集もWeb参加も同額となります。

※入会手続き中の方は、会員扱いとなります。

※1日だけの参加も上記料金となります。

※大会終了後のオンデマンド配信を視聴いただけます。

## 8. 懇親会

現在、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて鋭意検討中です。  
実施する場合は大会ホームページにて改めてお知らせいたします。

## 9. 申込先

株式会社JTБ 横浜支店

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 3-29-1 第 6 安田ビル 6 階

TEL 045-316-4602

Mail [jtb\\_convention@jtb.com](mailto:jtb_convention@jtb.com)

※在宅勤務実施中のため、極力メールでお問合せください。

## 10. 問合わせ先

公益社団法人東京社会福祉士会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5 階

TEL 03-5944-8467

Mail [cswtokyo-tokyo-csw.org](mailto:cswtokyo-tokyo-csw.org)

### 自然大災害等が発生した場合の対応

- 新型コロナウイルス感染症の感染状況や行政機関からの開催制限の要請等によっては、参集・Web 併用の開催形式ではなく全面的に WEB 形式での開催に変更となる場合があります。
- 自然大災害等が発生し大会の開催に影響を及ぼす場合は、日本社会福祉士会および東京社会福祉士会、学会運営委員会の三者が合議し、対応を検討します。決定された対応については速やかに東京社会福祉士会ホームページ、日本社会福祉士会の公式ホームページ、Twitter において周知いたします。
- 自然大災害等により東京大会開催を中止した場合、一旦納入された参加費等は返金できません。

**【後 援】(予定・順不同・法人種類省略)**

厚生労働省、東京都、江東区、福祉医療機構、全国社会福祉協議会、社会福祉振興・試験センター、日本ソーシャルワーク教育学校連盟、日本精神保健福祉士協会、日本ソーシャルワーカー協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本介護福祉士会、日本相談支援専門員協会、日本介護支援専門員協会、日本臨床心理士会、日本公認心理師協会、東京都社会福祉協議会、江東区社会福祉協議会、江東区教育委員会、特別区社会福祉事業団、東京都福祉保健財団、東京精神保健福祉士協会、東京都医療ソーシャルワーカー協会、東京都介護福祉士会、東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、東京三弁護士会多摩支部、東京税理士会、東京司法書士会、成年後見センター・リーガルサポート東京支部、東京都行政書士会、成年後見支援センターヒルフェ、東京都医師会、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会、東京都理学療法士協会、東京都作業療法士会、東京都言語聴覚士会、東京都栄養士会、東京都歯科衛生士会、東京公認心理師協会、東京都介護支援専門員研究協議会、東京都相談支援専門員ネットワーク、東京しごと財団、全国心身障害児福祉財団、東京ボランティア・市民活動センター、東京都病院協会、東京都老人保健施設協会、全国有料老人ホーム協会、日本認知症グループホーム協会、シルバーサービス振興会、東京都手をつなぐ育成会、東京都肢体不自由児者父母の会連合会、東京都精神保健福祉家族会連合会、認知症の人と家族の会東京都支部、東京都発達障害支援協会、きょうされん東京支部、日本てんかん協会東京都支部、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、東京新聞社、福祉新聞社

## プログラム

### 第1日目 7月2日(土)

9:15~11:45	全国大会プレ企画「実践研究入門講座」
11:30~	受付開始
12:30~13:00	開会式 歓迎の言葉 公益社団法人東京社会福祉士会 会長 新堀 季之 (第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)実行委員長) 主催者挨拶 公益社団法人日本社会福祉士会 会長 西島 善久 来賓挨拶・紹介
13:00~13:45	行政講演 「これからの社会福祉士への期待」(仮題) 講師:厚生労働省 社会・援護局
13:45~15:15	基調講演 「すべての人びとがWell-beingを実現できる社会への変革に向けたソーシャルワーク」 講師:法政大学現代福祉学部 教授 高良 麻子
15:15~15:30	休憩
15:30~17:15	シンポジウム 「ソーシャルワーク4団体が紡ぐソーシャルワーク」 シンポジスト 日本ソーシャルワーカー協会 会長 保良 昌徳 日本精神保健福祉士協会会長 会長 田村 綾子 日本医療ソーシャルワーカー協会 会長 野口 百香 日本社会福祉士会 会長 西島 善久 コーディネーター 法政大学現代福祉学部 教授 高良 麻子
17:15~17:25	翌日のインフォメーション 1日目終了

### 第2日目 7月3日(日)

9:30~12:30	社会福祉士学会〔分科会・開催県特別分科会・ポスター発表〕
12:30~13:30	休憩
13:30~15:00	記念講演 「自立とは何か―生きることを支えるソーシャルワークへの期待」 講師:東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷 晋一郎
15:00~15:20	大会総括報告 引継式(次回開催県 大分県社会福祉士会) 閉会の辞
15:20	閉会

(敬称略)

## 講師の紹介

### 基調講演・シンポジウムコーディネーター



高良 麻子(こうら あさこ)氏  
法政大学 現代福祉学部 教授

香川県生まれ。横浜国立大学教育学部教育学科を卒業後、株式会社ビギを経て、コロンビア大学大学院スクールオブソーシャルワーク修了。帰国後、在宅介護支援センター勤務。東京家政学院大学人文学部人間福祉学科助手を経て、東京学芸大学教育学部社会科学講座に勤務しながら、東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻修了。博士(ソーシャルワーク)。2020年度より現職。社会福祉士。

公益社団法人日本社会福祉士会理事、日本学校ソーシャルワーク学会副代表、厚生労働省・社会福祉士養成課程における教育内容等の見直しに関する作業チーム委員、厚生労働省・地域ケア会議実践事例集作成委員会委員長、公益財団法人社会福祉振興試験センター・社会福祉士試験作成委員、独立行政法人福祉医療機構・社会福祉振興助成事業審査評価委員など歴任。現在、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟理事、一般財団法人長寿社会開発センター理事、台東区・高齢者保健福祉推進協議会副委員長、小金井市生活支援事業協議体委員長、公益社団法人日本社会福祉士会アドバイザーなどつとめる。

単著に『日本におけるソーシャルアクションの実践モデル―「制度からの排除」への対処』(中央法規出版)、『ケアマネジャー実践力向上ワークブック基礎編・スキルアップ編』(中央法規出版)。編著に『ジェネラリスト・ソーシャルワークを実践するために―スクールソーシャルワーカーの事例から―』(かもがわ出版)、『地域共生社会に向けたソーシャルワーク―社会福祉士による実践事例から―』(中央法規出版)、『独立型社会福祉士―排除された人びとへの支援を目指して―』(ミネルヴァ書房)、『子どもが笑顔になるスクールソーシャルワーク―教師のためのワークブック―』(かもがわ出版)、『地域包括支援センター運営マニュアル』(長寿社会開発センター)、『地域包括支援センターのソーシャルワーク実践 自己評価ワークブック』(中央法規出版)など。

## 講師の紹介

### 記念講演



熊谷 晋一郎(くまがや しんいちろう)氏  
東京大学先端科学技術研究センター 准教授

山口県生まれ。新生児仮死で生まれ酸欠状態になり、生死のふちを彷徨う。生還したものの脳性麻痺となり高校生までリハビリ漬けの生活を送る。中学 1 年時より電動車椅子ユーザーとなり世界が激変する。歩行至上主義のリハビリに違和感を覚える。高校時代には身体障害者の自立生活運動について学び、大学時代より一人暮らしをはじめ。大学時代に出会った同世代の聴覚障害学生の運動に深く共鳴する。「見えやすい障害」を持つ自分への「排除型差別」とは異なる、「見えにくい障害」に対する「同化型差別」の根深さを知る。

東京大学医学部医学科卒業後、千葉西病院小児科、埼玉医科大学小児心臓科での勤務、東京大学大学院医学系研究科博士課程での研究生活を経て、現在、東京大学先端科学技術研究センター准教授、小児科医。専門は小児科学、当事者研究。

主な著作に、『発達障害当事者研究』(共著、医学書院、2008 年)、『リハビリの夜』(医学書院、2009 年)、『ひとりで苦しまないための「痛みの哲学」』(共著、青土社、2013 年)、『子どもの人権をまもるために』(共著、晶文社、2018 年)、『当事者研究』(岩波書店、2020 年)、『みんなの貧困問題』(編著、ジャパンマシニスト社、2020 年)など。

## シンポジストの紹介

● 保良 昌徳(やすら しょうとく)氏



日本ソーシャルワーカー協会会長。沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科元教授、特別養護老人ホーム沖縄偕生園元生活指導員、転生園元養護課長

● 田村 綾子(たむら あやこ)氏



聖学院大学心理福祉学部教授、日立製作所京浜地区健康支援センター非常勤。精神保健福祉士、社会福祉士。医療法人丹沢病院医療福祉相談室長、公益社団法人日本精神保健福祉士協会特命理事・研修センター長を経て現職。日本精神保健福祉士協会会長・認定スーパーバイザー。一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟理事

● 野口 百香(のぐち ゆか)氏



社会福祉士、認定医療ソーシャルワーカー、認定社会福祉士(医療分野)、認定社会福祉士制度スーパーバイザー。一般社団法人 TMG 本部(戸田中央医科グループ)医療福祉部シニアスーパーバイザー。1989年 TMG の病院に就職。その後、2001年に戸田中央医科グループ本部医療福祉部長、2020年から現職。2021年6月に公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会会長に就任。

● 西島 善久(にしじま よしひさ)氏



公益社団法人日本社会福祉士会会長。1987年3月社会福祉法人玉美福社会入職後、老人福祉施設の生活相談員・施設長を経て、現在、理事長。社会福祉士。介護支援専門員。社会保障審議会福祉部会委員。社会福祉法人全国社会福祉協議会評議員。公益社団法人社会福祉振興・試験センター評議員。学校法人日本社会事業大学評議員。一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟理事。一般社団法人日本介護支援専門員協会理事。東大阪市社会福祉審議会委員

# 第30回 社会福祉士学会

本大会のテーマは、「ソーシャルワークを紡ぐ～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～」です。個人発表・自主企画シンポジウム・ポスター発表については、以下のテーマでの発表者を募集します。

個人発表・自主企画シンポジウム・ポスター発表については、日本社会福祉士会ホームページの以下のURL もご覧ください。

<https://www.jacsw.or.jp/csw/zenkokutaikai/2021-1126-0937-18.html>

## 1. 学会開催のねらい

- (1) 新型コロナウイルスのパンデミックは世界規模で人々の生活に影響を与えています。また、近年、自然災害や人権と社会正義を脅かす事象が世界各地で起き、社会的な分断や孤立化が懸念されます。改めて、一人ひとりがつながりを実感できる社会の変革に向けたソーシャルワークが求められています。社会福祉士としてのミクロ・レベルの実践も、ソーシャルワークを通してマクロ・レベル、グローバル・レベルにつながります。この30回目となる記念大会では、多様な分野での社会福祉士の実践の成果を共有することでソーシャルワークの「知」を紡いでいきます。
- (2) さまざまな実践現場における社会福祉士の活動に基づく発表と質疑応答、意見交換を踏まえて、社会福祉士が目指す方向性を明らかにし、専門性の向上を図ります。

## 2. 分科会のねらい

分科会には「個人発表」「自主企画シンポジウム」「ポスター発表」があります。生涯研修制度の共通研修における6領域(社会福祉士がとらえる「権利擁護」「生活構造」「相談援助」「地域支援」「福祉経営」「実践研究」)をテーマとした発表を通して、これからの社会福祉士実践についての議論を共有することを目的としています。

### 「権利擁護」分科会

人権には「自由権」と「社会権」の二つの視点が認められる。特に「社会権」の擁護はソーシャルワーク実践の中核をなしており、社会が協働してそれを実現する必要がある。そのために社会福祉士が担うべきことの探求や、権利擁護にかかるソーシャルアクションが求められている。そのことが社会的合意につながり、制度政策に結実するため、利用者本位の支援を実現するため市民参加による権利擁護システムが求められる。また社会福祉士が果たすべき役割・機能の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- 権利擁護の取り組み実践と課題
  - 権利擁護にかかわる多職種連携やネットワーク
  - 成年後見制度・日常生活自立支援事業の課題と展望
  - DV・虐待事例など具体的ケースへの援助
  - オンブズマン、苦情対応等による権利擁護の実際
  - 権利擁護への住民参加の取り組み・推進事例

## 「生活構造」分科会

生活課題は、社会とのインターフェースで起こるとされている。世間の価値観に生活者は影響を受けやすい。生活者と生活環境の関わりを見据えながら、社会福祉士は、生活構造を的確に分析・把握できる能力が求められる。人と環境との相互作用として生活全体をとらえ、生活を動的に理解した上で、問題の背景や将来への見通しをも含めた支援を展開することが社会福祉士に求められている。「生活とは何か」「自立とは何か」「参加とは」を手がかりに、社会福祉士が果たすべき役割・機能の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- 生活問題の重層化・長期化・多様化への取り組み
  - 利用者の多様なニーズに対応するケアマネジメント
  - 若者の雇用環境、低所得者、失業問題など新たな生活課題への取り組み
  - 親子で抱える負の連鎖、教育機会の不均等、中途退学など教育機会の確保
  - 滞日外国人等の生活問題への対応

## 「相談援助」分科会

社会福祉士には、専門職としての「価値」「知識」「技術」に基づいた相談援助が求められる。「生活の質」「自立」「自律」など、生活のさまざまな側面に着目していかねばならない。また社会福祉士の活動範囲も広範となっている。潜在的な福祉ニーズを抱える者へのアウトリーチや地域や組織への働きかけ、さまざまな職種との連携も相談援助活動に含まれる。多様な分野で活躍する社会福祉士の機能・役割の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- 援助困難事例と家族療法
  - 問題解決過程で発生した専門職のジレンマ
  - 社会からの逃避と再参加にむけた支援法
  - 施設における利用者支援の実際と課題
  - クライアントを発見するアウトリーチの実際

## 「地域支援」分科会

社会福祉士には、サービスが総合的かつ適切に提供されるよう、地域に即した創意工夫が求められている。地域を基盤とした支援の展開が重要視される現在、人々が生活する地域のあり方が変化している。個人・家族を取り巻く環境としての地域に働きかけ、変革を促し、新たな地域のつながりをつくるために、社会福祉士に求められる機能・役割の近未来を見据えた実践について考える。

- 発表例**
- NPO 法人によるあらたな福祉実践
  - 地域における生活困難者のサポート体制づくりと実践
  - 地域における多職種ネットワーク形成活動
  - 社会排除に関する実態把握とその支援
  - 社会資源の効果的活用と新たな資源創設活動
  - 独立型社会福祉士による実践

## 「福祉経営」分科会

今日、福祉ニーズの多様化と共に供給源の多元化が求められている。特に法の支配のもと公による「規制」と「助成」という従来の枠組みから、持続可能な社会保障制度確立のため、制度の根本的見直しも検討されつつある。自律的な福祉経営やイコールフィッティングの議論などが展開される一方で、福祉実践現場の実情は人材確保や質の向上、そして価値や倫理の問題などの課題が横たわっている。この状況下、社会福祉士は福祉経営を通じてサービス利用者と従事者、経営者の架け橋となる組織マネジメントを担い、ガバナンスやコンプライアンスをふまえたマネジメントが期待されている。

- 発表例**
- 各種法人の現状と課題
  - 各種法人における品質管理の手法
  - 人材育成・人事考課と職場管理の取り組み
  - 職場における業務改善・業務開発
  - 苦情対応やリスクマネジメントの現状と課題
  - 外国人労働者及び緊急雇用対策における失業者の介護労働市場への参入における課題
  - 公益法人のあり方と経営実践

## 「実践研究」分科会

社会福祉士としてより質の高い支援を提供するためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことによって力量を向上していくことが不可欠である。また第三者に対して、援助の意義や効果を根拠と共に適切に説明できる能力も求められる。さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践を検討することによって、社会福祉士が実践すべき援助活動について考察する。

- 発表例**
- 社会福祉士の実践活動とその評価
  - 社会福祉士養成教育における実習指導の現状と課題
  - スーパービジョンや研修に関する実践報告
  - 災害ボランティア等における社会福祉士の取り組み
  - 出所者支援における社会福祉士の取り組み
  - 犯罪被害者支援における社会福祉士の取り組み
  - 就労支援における社会福祉士の取り組み

## 「自主企画シンポジウム」

会員の自主的な企画によるシンポジウムです。社会福祉実践にかかわる内容であれば、テーマ・形式は問いません。養成機関と現場との連携、多職種ネットワーク、地域で検討されている課題、都道府県社会福祉士会での効果的な研修・研究の実践など、参加者と共に討議できる機会を大いに活用して下さい。

## 東京特別分科会

### テーマ「包括的支援体制の構築と意思決定支援」

#### ーソーシャルワークにおける意思決定支援の実践と課題を考えるー(仮題)

複合的なニーズへの対応が増加するなか、社会福祉法の改正のなかでは包括的支援体制の構築、重層的支援体制整備事業などが定められ、分野横断、世代横断のソーシャルワーク実践、マイクロレベルメゾレベルマクロレベルを往還する総合的なソーシャルワーク実践が求められている。そのような総合的なソーシャルワーク実践においても「意思決定支援」の実践は中核的な取組みとなる。各領域・現場での意思決定支援に関する実践を共有するとともに、実践上の課題やあるべき方策、「意思決定支援」のソーシャルワーク実践のマイクロレベルメゾレベルマクロレベルの往還について議論を深める。

### 3. 全国大会プレ企画「事例研究ワークショップ」

実践研究能力を高め社会福祉士学会での発表や研究誌への投稿につながるよう、大会の開催に合わせて「事例研究ワークショップ」と「実践研究入門講座」を隔年で開催しています。本年度の「事例研究ワークショップ」では、実践力を高めるための事例検討会の開催に向けて、企画の仕方や進め方等をワークショップ形式で学びます。関心のある方は次ページを参照し、是非ご参加ください。

※全国大会プレ企画「事例研究ワークショップ」は、参集型(会場で受講していただきます)です。

Webによる研修ではありません。

- ★分科会の個人発表者、自主企画シンポジウムのコーディネーター、シンポジスト、ポスター発表者、プレ企画参加者は、東京大会の参加申込が必要です。
- ★プレ企画、分科会の会場は、ホテルイースト21東京です。
- ★分科会発表者と発表テーマは、5月下旬頃、日本社会福祉士会ホームページに掲載予定です。

## 第30回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(東京大会)

### 全国大会プレ企画『事例研究ワークショップ』

日本社会福祉士会・学会運営委員会では、社会福祉士が自ら日々の実践を振り返り、より良いソーシャルワークを展開すること、また会員の実践研究能力を高め社会福祉士学会での発表や研究誌への投稿につながるよう、大会の開催に合わせて「事例研究ワークショップ」と「実践研究入門講座」を隔年で開催しています。本年度の「事例研究ワークショップ」では、実践力を高めるための事例検討会の開催に向けて、企画の仕方や進め方等をワークショップ形式で学びます。「事例研究の方法」は社会福祉士会の基礎研修のカリキュラムにも含まれている重要な内容です。この機会に、是非ふるってご参加ください。

1. 日 時:2022年7月2日(土) 9:15~11:45
2. 会 場:ホテルイースト 21 東京 東京都江東区東陽 6-3-3  
※参集型(会場で受講していただきます)です。Webによる研修では、ありません。
3. プログラム:

時 間	内 容	講 師
9:00	受付開始	竹之内 章代 氏 (特定非営利活動法人スペース空 理事長、東北福祉大学 准教授)
9:15	オリエンテーション	
9:20	事例の紹介、事例の共有 グループ討議・発表 ふりかえり	
11:45	終了	

4. 対 象 者: 都道府県社会福祉士会会員の方のみご参加いただけます。(入会手続き中を含む)
5. 定 員: 先着 50 名
6. 参 加 費: 3,000 円(資料代込)
7. 申込方法: 以下に掲載しているQRコードもしくはURLから、申込フォームにアクセスし、必要事項を入力してください。  
URL:[https://www.cman.jp/QRcode/qr\\_make/](https://www.cman.jp/QRcode/qr_make/)
8. 申込締切: 2022年5月27日(金)  
(※申込期限にかかわらず、定員に達し次第、締切とさせていただきます。)  
※事前申込が必要です。当日の参加受付はいたしません。  
※お預かりした個人情報本企画の運営以外には使用しません。
9. 受講決定: 受講の可否については、6月中旬頃に郵便にてご連絡します。会場案内、参加費の納入方法およびキャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご連絡します。
10. 申し込み先:(公社)日本社会福祉士会 事務局 担当:草川  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル2階  
TEL:03-3355-6541 E-mail:kusakawa@jacsw.or.jp



#### ◆ 自然災害の発生による中止の判断について ◆

自然災害(悪天候及び地震が事由となるものに限る)の発生により、やむを得ず、本企画の開催を中止する場合があります。中止の判断基準は、本会・生涯研修センターホームページに掲載している「自然災害等発生時の研修運営の判断について」をご確認ください。また、開催中止を決定した場合には、本会ホームページ「全国大会/学会」にてお知らせします。

なお、上記事由により、主催者側が開催の中止を決定した場合、ご入金いただいた参加費は返金いたします。

※返金の振込手数料は申込者負担となります。ご了承ください。

## 第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉学会 東京大会

### 参加申込み手続きのご案内

#### ■申込方法

参加登録(参集および Web)・分科会・抄録集・昼食・宿泊プラン等は事前申込が必要です。

下記内容をご確認の上、大会参加登録システム(Web 申込)よりお申込みください。

▶登録開始 参集・Web 参加共通:2022 年 3 月 10 日(木)10:00

▶登録締切・支払い期日 参集・Web 参加共通:2022 年 6 月 3 日(金)17:00

※抄録集・昼食・宿泊も同時に締切となります。

※定員に達し次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください。

#### 【申込専用 Web サイト】

<https://amarys-jtb.jp/csw2022/>

#### ■個人情報の取り扱いについて

本大会参加お申込みの際に参加登録サイトにご入力いただきました個人情報(氏名、住所、電話番号、メールアドレス等)につきましては、参加登録、お客様との連絡、今大会における宿泊機関等の提供するサービス手配や手続きに必要な範囲内において、公益社団法人日本社会福祉士会・公益社団法人東京社会福祉士会と株式会社 JTB 横浜支店が共同して利用させていただきます。

#### ■申込先

株式会社JTB 横浜支店

〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町 3-29-1 第 6 安田ビル 6 階

TEL 045-316-4602

Mail [jtb\\_convention@jtb.com](mailto:jtb_convention@jtb.com)

※在宅勤務実施中の為、極力メールでお問合せ下さい。

#### ■参加費

参加費	日本社会福祉士会会員	一般参加	学生
	9,000 円	10,000 円	4,000 円

※日本精神保健福祉士協会・日本医療ソーシャルワーカー協会・日本ソーシャルワーカー協会の会員の方は日本社会福祉士会の会員に準じます。

※ご入会手続き中の方は会員扱いとなります。

※参集、Web 参加の参加費は同一料金です。

※大会事務局より委託を受け、JTB 横浜支店が受付・集金業務を代行いたします。

※お支払い方法はコンビニ支払い、銀行振込、クレジットカード、ペイジーが可能です。  
登録サイトにてご選択ください。請求書・領収書もサイト上で発行可能です。

### ■抄録集

抄録集	ダウンロード版 無料	製本版(送付代金込み) 1,000 円
-----	---------------	------------------------

※抄録集製本版の申し込み期限:2022年6月3日(金)17:00

### ■分科会

開催日:2022年7月3日(日)

会場:ホテルイースト21 東京

権利擁護	生活構造	相談援助	地域支援	ポスターセッション
福祉経営	実践研究	自主企画シンポジウム	東京特別分科会	

※参集に関しては、9時30分からの第一発表に限り、お申込みの分科会を優先いたします。  
第2発表以降の会場間移動は自由です。

### ■昼食お弁当

設定日:2022年7月3日(日) ※大会2日目

内 容 ①人形町今半(折詰)すき焼丼……黒毛和牛(モモ)すき焼、温泉玉子 1,580円(税込)／個  
② // かりん……海老カツ、鶏唐揚、煮物、他 1,340円(税込)／個  
③ // はぎ……口取り、焼魚、煮物、天ぷら、他 1,340円(税込)／個

※お弁当にはお茶がつきます。

※お受け渡し場所、昼食会場等については、お申込み後にご案内いたします。

※ホテル内および近隣にも飲食店がございますのでご利用ください。

ご自身で持参されたものはホテル内ではご飲食いただけませんのでご了承ください。

### ■懇親会

現在、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて検討中です。

実施する場合は大会ホームページにて改めてお知らせいたします。

### ■手話通訳・介助が必要な方へ

手話通訳・介助が必要な方は、参加登録時にシステム上にご入力ください。

## ■ 宿泊のご案内

宿泊をご希望の方は参加登録時にお申込みいただけます。詳細は申し込みサイトにてご覧ください。

地図 番号	ホテル名	部屋タイプ	宿泊料金(税込)		会場へのアクセス
			7/1(金)	7/2(土)	
1	ホテルイースト 21 東京	シングル	15,500 円	17,150 円	(会場ホテル) 東陽町駅より徒歩 10 分
		ツイン 1 名利用	19,900 円	24,400 円	
		ツイン 2 名利用	10,450 円	12,650 円	
2	相鉄フレッサイン 東京東陽町駅前	シングル	10,100 円	10,100 円	徒歩 10 分
		ダブル	11,000 円	11,000 円	
3	ルートイン Grand 東京東陽町	シングル	10,900 円	10,900 円	徒歩 10 分
		ツイン 1 名利用	12,900 円	12,900 円	
		ツイン 2 名利用	8,100 円	8,100 円	
4	京成リッチモンド 東京門前仲町	シングル	13,400 円	13,400 円	門前仲町駅徒歩 2 分 東陽町まで 2 駅 3 分
5	ヴィラフォンテーヌ 東京茅場町	ダブル	9,700 円	9,700 円	茅場町駅徒歩 3 分 東陽町まで 3 駅 6 分
6	京王プレッソイン 日本橋茅場町	シングル	10,100 円	10,100 円	茅場町駅徒歩 1 分 東陽町まで 3 駅 6 分
7	相鉄フレッサイン 日本橋茅場町	ダブル	12,100 円	12,100 円	茅場町駅徒歩 1 分 東陽町まで 3 駅 6 分



## ■ 予約内容の変更・取消および取消料について

お申込み時にご自身で設定いただいたIDとパスワードにて、申込サイトの「マイページ」にログインし、変更・取消の手続きをしてください。お電話による変更・取消はお受けいたしません。

※参加登録締切後(6月3日(金)17:00以降)の変更は、メールにてご連絡をお願いします。

メールアドレス jtb\_convention@jtb.com

※取消日はメールの受信日といたします。かつ受付時間内(平日 9:30~17:30)に受信したものを基準といたします。また、営業時間後に受信した分につきましては、受信日翌日の取消扱いになりますので、ご了承ください。

※ご入金後、変更・取消にて生じた取消料を差し引いた金額に残額がある場合には、大会終了後 30日以内に指定口座にお振込(ご返金)させていただきます。

なお、クレジット決済の方については、各カードの返金規約に基づきます。

※参加費の取消料につきましては、下記のとおりです。会場費及びハイブリッド方式による負担のため、ご理解をお願いします。

※自然大災害等により東京大会開催を中止した場合、一旦納入された参加費等は返金できません。

### 1) 参加費の取消料

取消日	取消料(お一人様)
2022年6月3日(金)まで	無料
2022年6月4日(土)以降	参加費の100%

### 2) 昼食お弁当の取消料

取消日	取消料(お一人様)
2022年6月17日(金)まで	無料
2022年6月24日(金)まで	お弁当代の50%
2022年6月25日(土)まで	お弁当代の100%

### 3) 宿泊代の取消料

契約解除の日		取消料(お1人様あたり)
旅行開始日から 起算して	1. 6日目にあたる日以前の解除	無料
	2. 5日前~旅行開始日前日までの解除	旅行代金の20%
	3. 当日の解除(4を除く)	旅行代金の50%
	4. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加(不泊)	旅行代金の100%

## ■参加申込み手続きの流れ(Web 登録)

### ▶初回登録時

- ① 申込画面の「はじめてご利用される方」から登録画面に進んでください。  
※お申込みは一人ずつ必要です。
- ② 初めに個人情報を登録します。ログイン ID、パスワードはご自身で設定してください。  
登録後も登録内容の確認、領収書発行等で必要になりますので大切に保管してください。
- ③ 個人情報の登録が完了した方は、参加登録情報入力画面に進みます。ここで参加費、分科会、抄録集、昼食のお申込みが可能です。該当する項目をご選択ください。
- ④ ご希望の方は、参加登録完了後、ご宿泊をお申し込みください。
- ⑤ すべての登録が完了すると、支払方法選択画面が表示されます。ご希望のお支払い方法をご選択ください。

※コンビニ支払いの場合は店頭でお支払い後数時間後、振込の場合は金融機関での手続き後 2～3 日後にシステムに反映されます。

### ▶2 回目以降の方

申込画面の「ログイン ID・パスワードをお持ちの方」にログイン ID とパスワードを入力いただきマイページにログインできます。マイページにて変更・取消等の手続き、各種書類の発行等が可能です。

▶Web 参加用の視聴用 URL・ID・PW は 6 月 20 日(月)頃にメールで通知いたします。

URL・ID・PW はマイページでもご確認いただけます。

### ▶各種書類発行

マイページにて以下の期間で発行可能です。

請求書: 申込完了時から

申込内容確認書: 入金完了時から ※昼食弁当をお申込みの方のみ出力の上、ご持参ください。

領収書: 7 月 2 日(土) ~ オンデマンド配信終了の日まで

参加証: 6 月 18 日(土) ~ 7 月 3 日(日) ※現地参加の方のみ出力の上、ご持参ください。

## オンデマンド配信期間

大会終了後 7 月 4 日(月) 13:00

}

7 月 31 日(日) 23:59



## 各交通機関のご案内

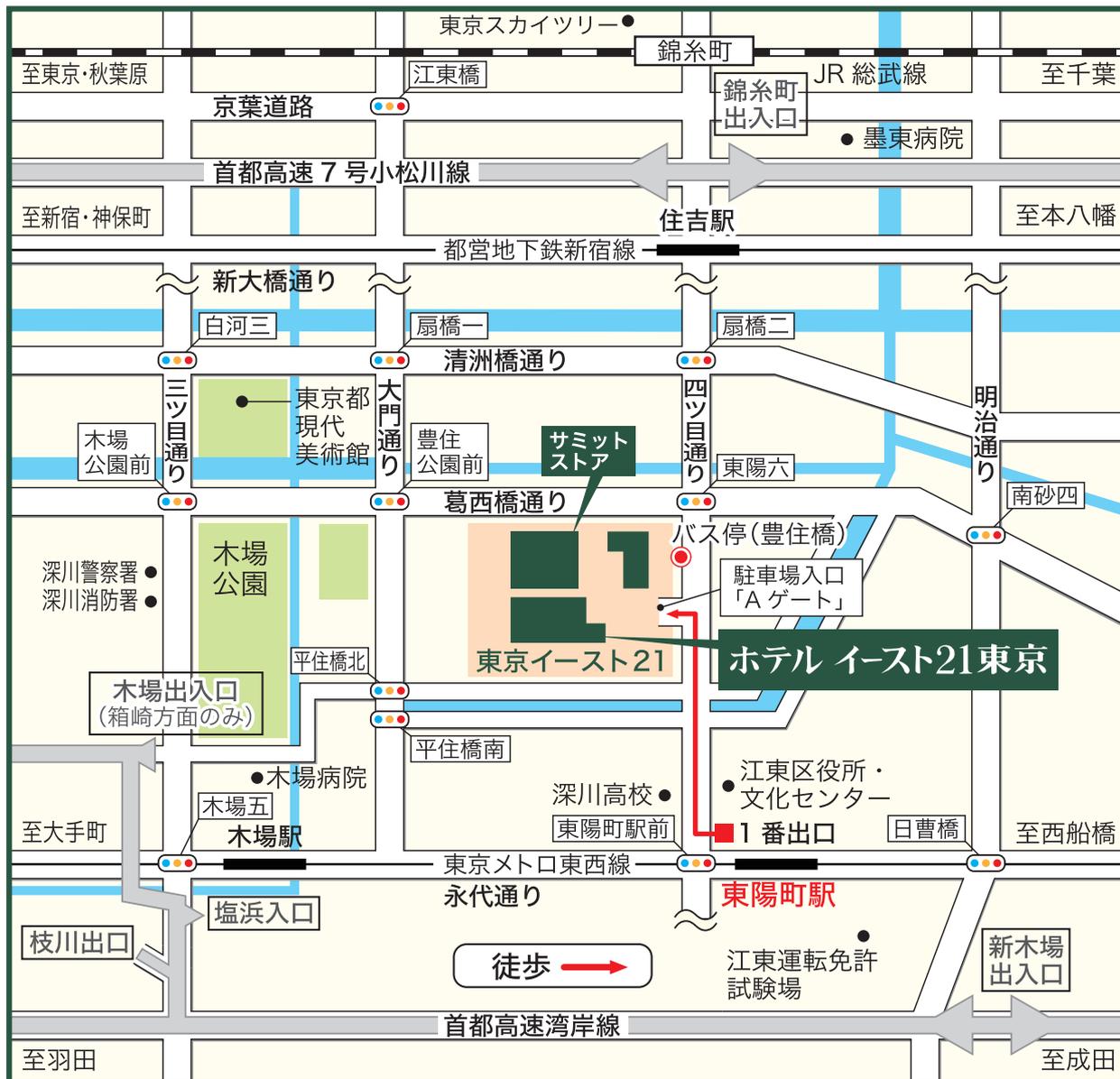
### 地下鉄

- 東陽町駅(東京メトロ東西線)下車徒歩7分  
大手町寄りの1番出口より右手へお進みください。
- ※ホテル発無料シャトルバス運行(午前中のみ)  
行先: 東陽町駅(東京メトロ東西線)/新木場駅(東京メトロ有楽町線、JR京葉線、東京臨海高速鉄道りんかい線)
- 住吉駅(都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線)下車  
都営バス10分《東22系統/東陽町駅・東京駅丸の内北口行き: 豊住橋(東京イースト21)下車》

### JR線

- 錦糸町駅(JR総武線)下車 南口  
都営バス15分《東22系統/東陽町駅・東京駅丸の内北口行き: 豊住橋(東京イースト21)下車》

# ホテル イースト 21 東京 周辺地図



## 各交通機関のご案内

### 最寄り

- 東陽町駅(東京メトロ東西線)下車徒歩7分  
大手町寄りの1番出口より右手へお進みください。

### タクシー

- 東京駅より15分
- 錦糸町駅より10分

### 高速出入口

- 首都高速7号線 錦糸町出入口
- 首都高速湾岸線 新木場出入口
- 首都高速9号線 木場出入口(箱崎方面のみ)

### リムジンバス

- 成田・羽田空港～ホテル間、リムジンバスを運行しております。(有料・要予約)



ホテル イースト21東京  
〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3  
TEL.03(5683)5683(代)







公益社団法人東京社会福祉士会

○ホームページ

<http://www.tokyo-csw.org/>



○大会情報・大会申込みページ

